

民俗建築



第165号

扉絵	茨城県西茨城郡岩間町 重要文化財 塙家住宅 2004年5月…… 道塚元嘉	
巻頭言	有島武郎旧邸雑感 …………… 一般社団法人日本民俗建築学会会長 角 幸博	1
審査論文	・祭祀空間としての高殿及びその神性 —「菅谷たたら山内」を事例として— …………… 武藤美穂子	5
2023年度大会発表研究論文		
	・蔵を母屋(モヤ)内土間に設ける庄屋の住まい …………… 土田充義	15
	・能登町「郷土館」(旧百万家住宅)について …………… 村田一也	23
	・阿知須居蔵造りの近代における変容に関する研究 …………… 金澤雄記・竹原和秀・金谷玲子	31
	・日本の建築材料の海外展開:パルセロナにおける聞き取り調査報告 …………… 鈴木あるの	36
	・宮城県気仙沼市唐桑町宿 海嘯(津波)記念館についての記録と考察 …………… 鈴木 清	44
	・土蔵における蓄熱特性 …………… 金田正夫	50
	・「神の来訪を認識する装置」の記録をめざして —東京近郊の道祖神祭をてがかりに— …………… 松尾あずさ	55
シンポジウム・見学会報告		
	・奥能登の大型民家に見る文化とその継承 …………… 実行委員長:村田一也、実行委員:新出直典	65
民俗建築アーカイブ ②⑥		
	・旧佐伯郡役所と郡役所の建築 …………… 金澤雄記	73
委員会活動情報		
	・民俗建築継承検討特別委員会報告2と中山間地域・過疎地域の 事例報告 …………… 小澤弘道	80
研究会報告	・カナダ日本人ガーディナーの雇用システムと技術導入 —日本庭園との関係性をめぐる考察— …………… 河原典史	92
会員活動情報	・朴賛弼写真展覧会「日本・韓国伝統建築」 …………… 桑野 進	100
	・早津剛展「美しい日本の原風景」 …………… 佐志原圭子	101
紙 碑	・日塔和彦氏を悼む …………… 榎 美香	103
新刊紹介	①「フードスケープ 図解 食がつくる建築と風景」 正田智樹著 出口清孝 (105)	
	②「美大の先生と巡る世界と地球の建築 デザインから読み直す歴史と環境」 岸本 章著 堤 涼子 (106)	
	③「図説 付属屋と小屋の建築誌 もうひとつの民家の系譜」 大場 修編著 出口清孝 (107)	
	④「元貸座敷・新むつ旅館物語」 月館敏栄著 佐志原圭子 (109)	
	⑤「日本の観光5—昭和初期観光パンフレットに見る《東北・北海道篇》」 谷沢 明著 林 哲志 (110)	
文献紹介	単行本・報告書・論文 …………… 事務局 (111)	
会 報	大会・代議員及び理事(候補者)の選出・会務担当会議・ 能登半島地震復興義援金の報告・研究会・民俗建築アーカイブ・ 学生論文奨励基金の活用・会員名簿の作成 …………… 事務局 (113)	
予 告	2024年度シンポジウム・見学会の予定・2025年度第52回大会の予定・ 研究会の予定 …………… 事務局 (115)	
会員動静	訃報・入会・訂正 …………… 事務局 (116)	
コラム	一般社団法人日本民俗建築学会倫理綱領・行動規範(117)、募集・一般社団 法人日本民俗建築学会学生論文奨励基金の運用(118)、審査論文応募要項(119)、 一般社団法人日本民俗建築学会 学会賞規定(120)、一般社団法人日本民俗 建築学会 会則(121)、一般社団法人日本民俗建築学会入会案内(122)、原稿 執筆要領(123)、 入会申込書(127) …………… 事務局	

原稿執筆要領

研究論文や原稿を執筆するに当っては、以下の要領を参照下さい。

- ① 1ページの体裁は、2段組、1行23文字、36行(1,656文字)である。
- ② ワープロでまとめる場合は、印字物とともにCD等も送付下さい。なおワープロの場合は機種名を、パソコンの場合はOS(システム名)、ソフト名(バージョンも記す)とともに、CD等を添付して下さい。
- ③ 400字詰または200字詰原稿用紙の場合、横書きで執筆下さい。
- ④ 写真は、モノクロ・カラー、スライド・紙焼きを問いません。
- ⑤ 図版は、白色紙に墨または黒インクでインキングし、文字も書き込んだ鮮明な図にして、ただちに版下になるものを用意して下さい。また、電子的図も同様に提出して下さい。投稿後の変更は認められません。
- ⑥ 題目の人名・地名・著者には、英文チェックのためルビを願います。中国語・韓国語など現地

使うアルファベット、専門用語のアルファベットを付記して下さい。

- ⑦ 必ず執筆者が英文タイトル、英表記氏名を記して下さい。
- ⑧ カラー印刷は著者の自由ですが、これに要する費用は著者負担となります。
- ⑨ 学会誌『民俗建築』の164号から「一般論文」枠への投稿は、1本10,000円の投稿料をいただきます。ただし、学生は無料とします。また、164号から一般投稿論文は2本まで認めることにいたします。
- ⑩ 分量は本誌8ページ(400字詰原稿用紙約30枚)以内でまとめて下さい。原則として上記分量をこえた場合に1ページ当たり10,000円の請求となりますのでご注意ください。ただし、依頼原稿や大会・シンポジウム・見学会報告等はこの限りではありません。
- ⑪ 原稿の締め切りは次のとおりです。
奇数号の学会誌：毎年3月1日
偶数号の学会誌：毎年9月1日

編集後記

「天災は忘れた頃にやって来る」—寺田寅彦の名言である。しかし、「天災は正月でもやって来る」で明けたのが令和6年(2024年)である。そう、1月1日16時10分、石川県能登地方、マグニチュード7.6の地震「令和6年能登半島地震」である。

能登は、本会が昨年シンポジウムと見学会を行った正にその地であった。見学会で回った能登町の重要文化財である中谷家は、通用門の倒壊、東塀の石垣が崩落した。主屋の倒壊が免れたのは幸いではあったが、大きな打撃を受けてしまった。その他、輪島市の伝統建築群の一部も全壊したと聞いている。「首都直下地震」は、マグニチュード7程度の地震

が今後30年以内(2020年時点)に70%の確率で発生するとされ、また南海トラフ地震についても、それ以上のクラスの高い発生が予想されている。全国どこでも大地震が起きても不思議ではない地震大国日本である。

地震後の復興はもちろん重要であるが、重要文化財等の歴史的な民家について、補強などの措置を事前にそして強力に講ずることが必要ではないか。民俗建築学会では、歴史などの研究分野に加え環境分野の研究は多くみられているが、構造分野との連携と支援が必須のように思う次第である。

(編集委員会 出口清孝)

民俗建築 第165号

Minzoku Kenchiku No. 165

ISSN 0289-9574

2024年5月30日発行
第四種郵便物認可

発行 〒162-0834 東京都新宿区北町18
☎ 03-3260-3653 FAX 03-3260-3653
e-mail : minken@outlook.jp
URL : http://www.folkhouse.org

一般社団法人日本民俗建築学会
(日本学術会議登録学会)

会長 角 幸博

印刷 藤原印刷株式会社

編集委員会 出口清孝(委員長)・杉原バーバラ・田口和夫・堤 涼子